

## 女性研究者研究活動支援事業（一般型）

(実施期間：平成 25～27 年度)

実施機関：室蘭工業大学（総括責任者：空閑 良壽）

## プロジェクトの概要

(1) 支援室の体制と具体的な活動内容（研究力向上のための取組を含む）

「男女共同参画推進室」に「女性研究者支援ユニット」を置き、支援ユニットには、コーディネーターを配置し、研究支援制度、北海道内大学における女性研究者ネットワークを整備する。また、女性研究者の採用や登用促進への対応等に関するシンポジウムや、領域長等の管理監督者や女子学生を対象としたセミナーの開催、広報活動の拡充等により、意識啓発及び女性研究者の裾野拡大に向けた取組を行う。

(2) 研究を支援する者の配置計画

ライフイベント期にある女性研究者、配偶者が研究者である男性研究者の研究支援員として、「室工大支援員人材バンク」を構築し、大学院生及び地元自治体在住の市民（研究者歴がある主婦等の登用）を配置する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
A	s	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

女性研究者の採用において、地理的に不利な地域にある工学系の単科大学でありながら、学長のリーダーシップの下、「女性研究者支援ユニット」が中心となり、地道に研究環境整備に取り組むとともに、教員の女性限定公募を実施し女性教員を7名増加させるなど、所期の目標を上回る成果を上げ、女性研究者が極めて少ない状況を克服したことは、評価できる。さらに、女性管理職を1名誕生させ、管理職への女性登用の道を開いたことも評価できる。

- ・**目標達成度**：学長のリーダーシップの下、女性限定公募を実施し、新たに7名の女性教員を採用することにより、女性教員在籍比率、自然科学系分野の女性教員新規採用者数ともに目標を上回り、事業開始時点では、同大学は、国立大学法人の中で女性教員の在籍比率が極端に低かったことを考慮すると、その成果は高く評価できる。
- ・**取組**：「女性研究者支援ユニット」にコーディネーターを配置し、女性研究者のニーズにきめ細やかに対応し支援を進め、ライフイベント期の緊急時タクシー代補助や学内駐車場の利用制限緩和、女子寮の整備等、特色ある取組を行ったことは評価できる。さらに、ライフイベント期の研究者への研究支援員の配置については、自主経費を用いて男性教員も対象とする配慮をし

ており、評価できる。

- **取組の成果**：女性教員の在籍比率が顕著に上昇し、また、女子学生比率も約20%上昇したことは評価できる。さらに、育児休業を取得する機関初の女性教員の誕生、ライフイベント中の研究者による科学研究費補助金新規獲得件数の増加といった成果も評価できる。
- **実施体制**：学長直属の「男女共同参画推進室」に「女性研究者支援ユニット」を新設し、女性研究者支援の推進に関する経験や知識を有するコーディネーターを特任教授として配置し、男女共同参画に係る、これまでの様々な課題を分析し、効率的に事業を推進することのできる全学的な支援体制を整えたことは、評価できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：実施期間終了後も、継続してコーディネーター及び特定専門職員を雇用し、十分な事業実施経費を確保している。さらに、学内メンター制度を導入し、附属図書館、ものづくり基盤センター、国際交流センター、保健管理センターと連携した女性研究者の支援や養成を進めており、今後の取組の発展が期待できる。